

# 市北河内4市廃プラリサイクル施設を市議会で視察

## 「ゴミ減量につながるが、環境にやさしい取り組み?」と言えぬのか

2月から、ペットボトルとプラスチック製容器包装のリサイクルが始まり、廃プラの分別収集が実施されています。19日、交野市議会(日本共産党3人の議員も参加)で4市リサイクル施設の視察を行いました。

管理棟内には、学習用の立派な設備(映像やゲームコーナー)がありますが、処理棟内に足を踏み入れると、大きな機械音が響き、廃プラのゴミの臭いと機械の振動が足元から伝わってきました。特に、分別を手選別を行うコンベヤ(2機)室は天井も低く、30



コンベヤでの手選別作業

数人が1〜2メートル間隔で横に並んでの作業です(マスク着用ですが、密閉された所での長時間作業に身体への影響が懸念されます)。

廃プラをリサイクルしても、廃プラの最終処理は焼却するしかなく、またエネルギーが必要となります。ゴミ減量の基本は、廃プラ製品の製造を減らすことではないでしょうか。

4市リサイクル施設は、建設前から健康被害を心配する寝屋川住民から中止を求める訴訟が起こされていることや、本市財政が厳しいなか毎年5千万円の多額の負担が必要であることなどの問題は残されたままです。

### 収集車で搬入された廃プラは

- ① 貯蔵ピットに貯められて
- ② 破砕機と粗選別機にかけられてコンベヤへ
- ③ コンベヤで流れてきたペットボトル・

プラスチック製容器包装



ペットボトル

プラスチックなど手で選別され ④カン・鉄類は磁力で除去された後 ⑤ペットボトルとプラスチック製容器包装に分けて圧縮梱包され ⑥梱包物はリサイクル業者に引渡される。

ペットボトルは、1トンあたり1800円で業者に売却されますが、プラスチック容器包装は1トンあたり、9万3500円(リサイクル施設負担は3%)を支払って、すぐ隣のリサイクル民間業者に引き取られています。(業者はパレットとして製品化)すでに稼働しているこの民間施設の影響で住民に健康被害がおきています。

## 3月議会の日程

日	曜	議会日程
4	火	本会議(施政方針・議案上程)
7	金	議会運営委員会(意見書の取扱い)
10	月	本会議(一般質問)
11	火	本会議(一般質問)
12	水	本会議(一般質問)
13	木	本会議(一般質問)
14	金	本会議(一般質問)(予備日)
17	月	予算特別委員会
18	火	予算特別委員会
19	水	予算特別委員会
21	金	予算特別委員会
24	月	予算特別委員会(予備日)
25	火	常任委員会
26	水	常任委員会(予備日)
28	金	本会議(委員長報告・採決)

## 日本共産党 3月議会に2本の意見書を提出

### 大阪府の08年度当初予算に 市町村、住民の意見・要望を反映するよう求める意見書

大阪府は、08年度当初予算を、府財政が非常事態にあるとして市町村と府民に係わる重要な施策も計上しない暫定予算として編成する方針を示した。しかし、財政が非常事態にあるのは大阪府だけでなく市町村も同様であり、同時に府民の暮らしも非常事態にある。市町村を通じて行ってきた多くの事業費を予算に計上せず、計上するものも7月末までの暫定予算とするのでは、市町村の予算編成そのものが困難となり、そうでなくても厳しい状況にある市町村の財政をさらに厳しくし府民の暮らしに大変な痛みを押しつけるものであり容認できない。しかも方針が示されたのは市町村が予算を編成した後のことであり、これまでの市町村との信頼関係を根底から覆すものである。

よって、大阪府は、市町村と府民の声を真摯に受けとめ、暫定予算であっても通年で市町村に交付するものは無条件で交付し、昨年まで市町村と共同で府民福祉の向上のためにすすめてきた施策について不計上とせず、最大限計上すること。また、6月臨時府議会までに見直すとされているものについても事前に市町村の意見を十分聴取するよう強く求める。

日本共産党は、もう1本「道路特定財源の一般財源化と暫定税率の廃止を求める意見書」を提出しました。7日の議会運営委員会で、本会議に上程するかが採決されます。

## 日本共産党の一般質問は

3月10日(月)  
午後2時頃からの予定

